



ともしび

平成25年2月26日
世田谷区立三宿中学校
夜間学級だより 2月号
校長 岩崎正道

え ど ま な

江戸しぐさから学ぶ

ふくこううちょう いしむら しげき
副校長 石村 繁樹

せんじつ え ど か ぶ き だい め いちかわだんじゅうろう さい わか な
先日、江戸歌舞伎の12代目市川團十郎さんが66歳の若さで亡くなりまし
いちかわだんじゅうろう い か ぶ き いちかわりゆう いえもと いちかわいちもん そうけ
た。市川團十郎と言えば、歌舞伎の市川流の家元であり、市川一門の宗家（お
なが れきし いちかわだんじゅうろう な か ぶ き やくしや
おもと）でもあります。その長い歴史から、市川團十郎という名は歌舞伎役者
のなかでも最も権威のある名とされています。

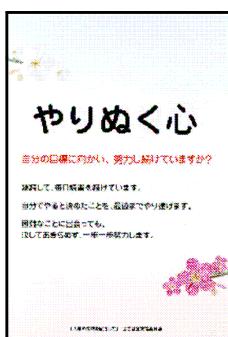


か ぶ き でんとうてき こ てんげいのう え ど しよみん
歌舞伎には伝統的な古典芸能というイメージがありますが、江戸の庶民にと
き がる いま い
ってはとても気軽なものだったようで、それは今で言うテレビドラマかロード
えいが あつか き か ぶ き やくしや こにち か しゆ そんさい す
ショー映画のような扱いだったと聞きます。歌舞伎役者は今日のアイドル歌姫のような存在で、よく好
きなアイドルのポスターを貼ったり写真をながめたりしますが、江戸時代の人々もこれと同じような
は しやしん え ど じだい ひとびと おな
ことをしていたそうです。そのために広まったのが浮世絵で、増し刷りされた浮世絵の役者絵を大切
ひろ うき よ え ま づ うき よ え やくしや え たいせつ
にもっていたと聞きます。そんな中でも人気No.1だったのが市川團十郎でした。当時の人々は格好
なか にんき いちかわだんじゅうろう とうじ ひとびと かつこう
のよい様を「粹」といい、よく「粹でいなせな江戸っ子」と称していましたが、團十郎は江戸で一番
「粹」な男だったということです。「粹」とは、そんな江戸庶民があこがれる格好良くもあり素敵な
よ う す、英語で言えば、さしづめ cool（クール）といった言葉があてはまるでしょうか。

え ど しよみん たいせつ ねん
そんな江戸庶民が大切にしていたものに「江戸しぐさ」というものがあります。2004年からJ C
こうきょうこうこく き こう しょうかい かさ かたひ ごしう
(公共広告機構)のCMでも紹介され、「傘かしげ」や「肩引き」、「こぶし腰浮かせ」などはよく知



え ど じだい ひとびと ちが
られるようになりましたが、それは江戸時代の人々のマナーやエチケットのこと
かさ あめ ひ たが かさ そがわ かたむ ちが
です。傘かしげとは雨の日に互いの傘を外側に傾け、ぬれないようにすれ違うこと
かたひ みち ある ひと ちが ひだりかた ろ かた よ ある
と、肩引きは道を歩いて、人とすれ違うとき左肩を路肩に寄せて歩くこと、こぶ
ごしう のりあいせん あと きた ひと ひと ぶんごじ う せき
し腰浮かせは乗合船などで後から来る人のためにこぶし一つ分腰を浮かせて席を
つく ほか ときどろぼう しちさん みち
作ること、その他にも「時泥棒」や「うかつあやまり」、「七三の道」などがあり、
あい たい おも しゃかいせいかつ いとな え ど しよみん
どのしぐさも相手に対する思いやりにあふれ、社会生活を営むための江戸庶民の
ちえ ふか え ど み いき じょうけん
ちの恵の深さがうかがえます。この江戸しぐさを身につけてることも「粹」の条件
ひと の一つでした。



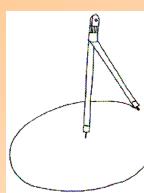
せ た が や く まいつきひだり けい じ じんかく かんせい め さ
世田谷区では、毎月左のようなポスターを掲示し、「人格の完成を目指して」
どうとくせい み とく こころ
という道徳性を身につける取り組みをしています。今月は「やりぬく心」をテーマに自分自身の行動を見直しています。夜間学級のみなさんも、これに限らずいろいろなことを材料に、毎日の生活を振り返ってもらえるとよりよい夜間学級
おも がんば や かんがつきゅう かぎ
になるのだと思います。頑張りましょう。

公開授業を振り返って

今学校では、今年一年を振り返り4月からの新しい年度に向けてさまざまな準備をしています。公開授業週間にについても、今月6日から8日の学校公開をもつて本年度の公開授業を終えることができました。あらためて今年一年の公開授業を振り返ると、来校者数はのべ183名、その内訳は授業参観や保護者会の機会に来校したみなさんの保護者の方々、東洋英和女学院大学や早稲田大学、青山学院大学などの学生、あるいは多文化共生センターや近隣の小中学校の先生方など実際にさまざまな方がお見えになり、夜間学級の様子をご覧になりました。



公開授業というと生徒のみなさんにとっては、初めてお会いするいろいろな人に授業の様子を見られることが多く、中にはそのことにとても緊張してしまう人もいるかもしれません。しかし、この機会にご覧になった方々が三宿中学校夜間学級のことを紹介して下さったり、自習教室のボランティアに来て下さったりと、とても有効な機会にもなっています。今回はこの場をお借りし、参観者の感想を載せて一年間の締めくくりにしたいと思います。



「どのクラスも真面目に授業を受けていた。見学した授業では先生に質問したり、黒板に書いてある漢字で読めないものがあると読み方を聞いたりと学習する意欲が高いと感じた。」
(青山学院大学生)

「少人数のクラスということもあり教室内の雰囲気もアットホームで生徒一人ひとりが熱心に取り組まっていました。授業間の移動の時にひびく明るい声がとても印象的でした。」(早稲田大学生)
「偶然にも三宿の近くに住んでいて(五本木一丁目自在住)、三宿中の前を頻繁に通ることがあった。しかし、夜間学級のことは今まで知らずに、先日映画「こんばんは」を観て初めて知った。今回見学させてもらって、熱心に勉強するみなさんの様子を見ることができ、とてもよかったです。」(早稲田大学生)

「みなさんが今日の発表会のために、たくさん練習したんだろうなということがよく伝わってきました。みなさんが楽しそうに演劇や歌に取り組んでいる様子がとても素敵でした。特に『大きなかぶ』、とてもよかったです。」
(日本大学生 文化学習発表会の感想)

「生徒のみなさんが普段がんばっている様子が見られました。特に習字の文字がとてもきれいでおどろきました。」(日本大学生 文化学習発表会の感想)



「授業の中で、みなさんの『学びたい』という意欲を節々に感じることができ、教育の本來の営みに久しづりに触れた気がしました。特にスピーチからは本当にパワーをもらいました。」
(高校教師 意見発表会感想)

2月～3月の予定	
2月25日(月)	～27日(水)
	期末考査
2月27日(水)	健康教育
2月28日(木)	都立合格発表
3月3日(土)	遠足
3月4日(月)	振替休業日

3月8日(金)	3月21日(木)	3月15日(金)	3月18日(月)	3月25日(月)
がつ	がつ	がつ	がつ	がつ
か	にち	にち	にち	にち
きん	もく	きん	げつ	げつ
さんねんせい	おく	さんねんせい	かく	かく
おく	かく	おく	かく	かく
かい	かい	かい	かい	かい
三年生を送る会	おおもりさんちゅう	ゲストティーチャー(大森三中)	卒業式予行	修了式